

Atlassian 移行ガイド

Jira、Confluence から ONES.com への移行の効果



目次

はじめに 01

ONES.com とは? 02

Atlassian から ONES.com への移行の効果

移行内容 09

移行ツールの利用方法

移行プロセス 14

ステップバイステップの移行ガイド

移行成功事例 17

移行のベストプラクティス



はじめに

Atlassian が 2024 年 2 月 15 日に Server 製品のサポート終了を発表したことを受け、多くの企業は自社のデータを信頼性のあるプラットフォームに移行することが必要になりました。そこで、Jira、Confluence の代替ツールを検討しているお客様も多いのではないのでしょうか。スムーズな移行や中断のない業務運営を確保するため、移行内容の優先順位付けと移行プロセスの計画がとても重要です。

これまでの移行経験において、成功した経験もあれば、課題に直面したこともあるかもしれませんが、どのような企業やチームにとっても、全く同じデータを移行することはないでしょう。パートナー企業やインターネットを通して Jira、Confluence 移行に関する情報を参照できますが、それらの情報に頼り切って移行することは最善のアプローチとは言えません。そこで、本ガイドを編纂し、多くの日本企業に適切な移行アプローチを評価、選択していただけるようサポートしていきたいと考えています。

本ガイドでは、下記のコンテンツを確認できます。

- 移行の主要フェーズ
- Jira、Confluence 移行のプロセス
- 移行の成功事例とベストプラクティス

本ガイドは下記の要件をもつ、プロジェクトマネージャー、システム管理者、ソフトウェアエンジニア、テストエンジニア、プロダクトオーナーをはじめ、Jira、Confluence 移行を検討している方々を対象としております。

本ガイドは下記の要件をもつ、プロジェクトマネージャー、システム管理者、ソフトウェアエンジニア、テストエンジニア、プロダクトオーナーをはじめ、Jira、Confluence 移行を検討している方々を対象としております。



- オンプレミスタイプのプロジェクト管理ツールを利用し続ける
- 既存データの完全性と情報セキュリティを最大限に確保し、権限と制限を維持する
- Atlassian Marketplace で購入したプラグインの機能を継続的に利用する
- Jira と Confluence Server 版移行のためのツールを無料で試す
- Jira、Confluence の代替案（[オンプレミス・クラウド対応](#)）を無料で試す
- 移行エキスパートチームの迅速な対応
- ……

01 ONES.com とは?










ONES.com は、オールインワンのプロジェクト管理プラットフォームです。チームの開発効率の向上やリリース品質の確保、シームレスなコラボレーションをサポートすることを目指しています。ONES.com の製品アーキテクチャは研究開発のライフサイクルをカバーし、さまざまな業種の小・中・大規模のチームの要件に対応することができます。

ONES.com のコア製品と機能

Products

 ONES Project プロジェクト管理	 ONES Wiki ナレッジベース管理
---	---

Apps

 ONES Resource リソース管理	 Code Integration コード管理	 Pipeline Integration パイプライン管理
 ONES TestCase テスト管理	 ONES Performance パフォーマンス管理	 ONES Automation プロセス自動化
 ONES Task タスク管理・チームコラボレーション	 ONES Plan プログラム管理	 ONES Account ディレクトリ・アカウント管理

Open Platform

Rest API	Webhook	OAuth	スロット	オープン機能
----------	---------	-------	------	--------

ONES.com のコア製品— **ONES Project** と **ONES Wiki** は、お客様のプロジェクトマネジメントとナレッジマネジメントの効率化をサポートします。

ONES Project プロジェクト管理とタスクコラボレーション

ONES Project では、[タスクのコラボレーション](#)や[スプリント管理](#)、[進捗追跡](#)、[品質保証](#)、[使いやすいテンプレート](#)、[プロジェクトレポート](#)などの機能を提供しています。ONES Project は豊富なコンポーネントと強力な課題のカスタマイズ設定で、プロジェクトチームでも製品チームでも、あらゆるチームのニーズに柔軟に対応することができます。



ONES Wiki ナレッジベース管理

ONES Wiki はドキュメントコラボレーションとナレッジ管理機能を提供しています。テーブル、音声、動画、マインドマップ、フローチャート、コードブロックなど豊富なコンテンツ形式に加え、ONES Project のプロジェクトとの関連付けにも対応しています。さらに、スペースの参照からページの編集、共有、エクスポートまで、多階層の権限メカニズムにより、企業の情報セキュリティを保護します。

コア製品に加え、ONES.com はさまざまなアプリを提供しています。ONES.com のアプリはテスト管理、パフォーマンス管理、プログラム管理、リソース管理など、あらゆる業務シーンに対応し、1つのプラットフォームで開発プロセスの最適化やエンドツーエンドの開発管理の効率化の実現をサポートしています。



ONES TestCase テスト管理

ONES TestCase は、テスト工程の全フェーズをカバーするテスト管理アプリです。テストケースと要件やタスクの関連付け、テスト計画とスプリントの関連付けなどの機能によって、テストの効率化を実現し、製品の品質を確保します。



ONES Performance パフォーマンス管理

ONES Performance では、開発プロセスから自動的に収集したデータを可視化し、専門的なパフォーマンス測定方法に基づいて開発パフォーマンスの「数値化-実装-分析-最適化」の管理サイクルを実現します。



ONES Plan プログラム管理

ONES Plan は、複数のプロジェクトの進捗状況の統一的にモニタリング、管理するためのアプリです。管理者の意思決定、中・大規模企業の製品実装をサポートします。



ONES Automation 自動化

ONES Automation は、繰り返し作業の効率化のためのプロセス自動化アプリです。豊富なカスタム設定とルール管理機能によって、業務の効率化を実現します。



ONES Account ディレクトリ・アカウント管理

複数チームの作成と管理、アカウントサービスの統合管理のためのアプリです。複数のアイデンティティプロバイダと同時に統合でき、シングルサインオンやユーザーディレクトリの同期を可能にします。



ONES Task タスク管理とチームコラボレーション

ONES Task は、開発以外の業務や一般事務の担当者向けのタスク管理アプリです。タスクを素早く作成、割り当て、ソート、追跡し、リアルタイムの更新とリマインダー機能でタスクの進捗状況を簡単に把握することができます。



ONES Resource リソース管理

ONES Resource では、リソースを効率的に計画し、最適なリソース配分を実現するためのプロジェクトリソース計画と進捗追跡機能を提供しています。



Code Integration コード管理

コードインテグレーションでは、プログラミング作業とプロジェクト管理の統一化により、開発プロセスの進行状況を追跡、管理し、コードをリアルタイムに関連付けることができます。



Pipeline Integration パイプライン管理

パイプラインインテグレーションでは、パイプラインツールとシームレスに統合し、継続的インテグレーション (CI) と継続的デリバリー (CD) プロセスを可視化します。

さらに、ONES.com はメッセージングアプリ (Slack、Teams など)、マインドマップツール (Xmind など)、主要コードリポジトリ (GitLab、GitHub、SVN、Bitbucket など)、パイプラインツール (Jenkins など)、サードパーティのアプリケーションとの統合をサポートしています。また、豊富なプラグインや API も提供し、必要に応じてご利用いただけます。

ONES.com が取得している国際認定

標準化した管理、優れた製品品質および安定した技術サービスにより、ONES.com は多くの国際基準の認証を取得しています。



AICPA SOC2 Type I
SOC 2 Type 1 レポート



ISO9001
品質マネジメント
に関する国際規格



ISO20000
IT サービスマネジメント
に関する国際規格



ISO27001
情報セキュリティマネ
ジメントの統制



ISO27018
クラウド環境における個人
情報保護に関する国際規格

ONES.com はオールインワンのプロジェクト管理ソフトウェアです。Jira、Confluence のプロジェクト管理（アジャイルプロジェクト、ウォーターフォールプロジェクト、カンバンプロジェクトなど）やナレッジ管理などの機能をカバーしているため、Jira、Confluence からシームレスに移行し、新しいツールの導入によるコストを削減することができます。

Jira と ONES Project の比較

ソリューション	機能	Jira Software	ONES Project
プロジェクト管理	バージョン管理	✓	✓
	要件管理	✓	✓
	スプリント管理	✓	✓
	リリース管理	✓	✓
	プロダクト管理	✓	✓
	マイルストーン管理	プラグインが必要	✓
	成果物管理	プラグインが必要	✓
	カスタムワークフロー	✓	✓
	多階層サブタスク	プラグインが必要	✓
	WBS	プラグインが必要	✓
	レポート	✓	✓
	ダッシュボード	✓	✓
リソース管理	メンバースケジュール	プラグインが必要	✓
	メンバー実績工数カレンダー	プラグインが必要	✓
チーム管理	メンバー管理	✓	✓
	組織構造管理	✓	✓
	ユーザーグループ管理	✓	✓
	チーム権限	✓	✓
プロセス自動化	トリガーイベントと条件	✓	✓
	実行アクション	✓	✓
	関連課題を連動	プラグインが必要	✓
	条件付き判断	✓	✓
	ルール管理	✓	✓
	実行履歴	✓	✓

Confluence と ONES Wiki の比較

ソリューション	機能	Confluence	ONES Wiki
ナレッジ管理	スペースの作成と管理	✓	✓
	ページツリー	✓	✓
	ページ共有	✓	✓
	ページ暗号化	✓	✓
	ドキュメント検索	✓	✓
	ドキュメントのインポートと エクスポート	✓	✓
	ページテンプレート	✓	✓
	コードブロックの挿入	✓	✓
	数式の挿入	✓	✓
	音声/動画の挿入	✓	✓
	フローチャート/UMLの挿入	プラグインが必要	✓
	Web ページの挿入	✓	✓
	プロトタイプの挿入	プラグインが必要	✓
	履歴バージョンの記録 とロールバック	✓	✓
	ページコメント	✓	✓
	ページ注釈	✓	✓
	ページウォッチ	✓	✓
	ページ通知	✓	✓
	ページアクティビティ	✓	✓

ソリューション	機能	Confluence	ONES Wiki
チーム管理	組織情報	✓	✓
	組織メンバー管理	✓	✓
	複数チーム管理	プラグインが必要	✓
	組織権限	✓	✓
	データ分離	✓	✓
	チーム情報	✓	✓
	組織構造管理	✓	✓
	チームメンバー管理	✓	✓
	ユーザーグループ管理	✓	✓
	チーム権限	✓	✓
	権限付与の管理	✓	✓
	二要素認証	✓	✓
Confluence 移行	✓	✓	

さらに、ONES.com は自社が開発したアプリを利用してテスト管理、プログラム管理、パフォーマンス管理など、研究開発の管理プロセスにおけるその他の重要なシナリオにも対応しています。柔軟性とカスタマイズ性によって、チームはプロジェクトのニーズや作業スタイルに合わせてカスタマイズし、プロジェクト管理の効果を最大限に引き出すことができます。

テスト管理	プログラム管理	パフォーマンス管理
<ul style="list-style-type: none"> ✓ テストケース管理 ✓ ツリー構造での管理 ✓ 要件とテストケースの関連付け ✓ テストケースをインポートとエクスポート ✓ テスト計画 ✓ テスト計画をプロジェクト、バージョン、スプリントと関連付け ✓ テスト計画の実行記録 ✓ テストケース実行結果からバグへの変換 ✓ 強力なテストケースフィルター ✓ 権限管理 ✓ テストケースの一括追加 ✓ テストレポート ✓ カスタマイズ可能なテストレポートテンプレート 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 複数プロジェクトの進捗集計 ✓ 親子プロジェクト ✓ プロジェクト管理とのデータ同期 ✓ ガントチャート作成 ✓ ガントチャート共有 ✓ 課題作成 ✓ グループ作成 ✓ マイルストーン作成 ✓ プロジェクト継続時間の計算と表示 ✓ 異なる時間単位での進捗確認 ✓ ガントチャートとプロジェクト管理間のデータ同期 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 完全なデータ収集 ✓ カスタムフィールド分析 ✓ パフォーマンスメトリクス分析 ✓ PMO 複数のプロジェクト管理テンプレート ✓ アジャイル開発管理テンプレート ✓ CMMI 開発プロセス改善用テンプレート ✓ 要件管理テンプレート ✓ バグ管理テンプレート ✓ 部門別開発管理テンプレート ✓ メンバーの工数と効率の管理 ✓ 豊富なチャート ✓ 権限管理 ✓ フルスクリーン表示 ✓ ダッシュボード共有 ✓ チャート/データのエクスポート



02 移行内容

ONES.com では、Jira、Confluence から ONES Project、ONES Wiki ヘスムーズに移行するための**セルフ移行ツール**を提供しています。

ONES.com の Jira 移行ツールは、主に「**データバックアップファイル**」を解析する形で移行を実施します。Confluence 移行ツールは**データファイルをアップロードするか**、API を利用してデータを自動的にバッチで移行します。ONES.com のセルフ移行ツールを利用して Jira、Confluence の主要なデータタイプを完全で安全かつ効率的に ONES.com に移行できます。

The screenshot shows the 'Jira 移行ツール' (Jira Migration Tool) interface. On the left is a navigation menu with steps: ONES ログイン, Jira バックアップ選択, Jira バックアップ解析, ONES チーム選択, Jira プロジェクト選択, 課題タイプ移行, フィールド移行, 他のデータ移行, ユーザー移行, 移行設定確認, and 11 移行 (highlighted). The main area is titled '移行' (Migration) and shows 'Jira バックアップファイル詳細情報' (Jira Backup File Details) with a progress bar and a '移行中' (Migrating) status. Below this is a '移行ログ' (Migration Log) with a list of system messages. At the bottom right are buttons for 'キャンセル' (Cancel), '移行結果レポートをダウンロード' (Download Migration Result Report), and '移行中' (Migrating).

The screenshot shows the '設定センター' (Settings Center) interface. The left sidebar lists various settings categories, with 'Confluence からイン...' (Import from Confluence...) selected. The main area is titled 'Confluence データ移行アシスタント' (Confluence Data Migration Assistant) and features a '移行タスクを作成' (Create Migration Task) button. A message states that migration tasks can be created to move data from Confluence to ONES Wiki. Below this is a table showing migration tasks:

移行のタスク名	ステータス	スペース移行の進捗	操作
202306131504_1	移行完了	1 / 1	レポートをダウンロード

Jira 移行ツールがサポートするデータタイプ

ONES.com の Jira 移行ツールは、包括的なデータ移行機能を備えています。

- **様々なデータタイプに対応**：ユーザー、プロジェクト、スプリント、課題、フィールドなどの主要データタイプの移行に対応しています。
- **マッチ度合いの高い権限メカニズム**：ONES.com のプロジェクト、スプリント、課題タイプの権限構造は Jira とマッチ度合いが高く、Jira の権限設定をスムーズに移行できます。

Jira 移行ツールのバージョン

バージョン	アクセス方法	機能説明
スタンダード版	システム内で直接アクセスすることが可能。	1 1GB 以下の Jira データ移行が可能。 2 データファイルのアップロードが必要。
エンタープライズ版	Jira の運用するサーバーへのデプロイが必要。	1 10GB 以下の Jira データ移行が可能。 2 データファイルのアップロードが不要。

データサイズが制限を超える場合は、ONES.com までお問い合わせください。[専門的な移行技術サポートチーム](#)が移行ソリューションを提案させていただきます。

Jira 移行ツールがサポートする主要データタイプ

Jira フィールドタイプ	移行可否	移行内容
ユーザー管理	✓	ユーザー、グループ
設定-システム	✓	プロジェクトロール、グローバルパーミッション
プロジェクトデータ・設定	✓	• プロジェクトのキーデータ、リーダー、スプリント、パーミッション・権限 • フィールド構成、通知
課題設定	✓	課題タイプ、フィールド、ステータス、優先度、リンク、解決状況
課題データ	✓	• プロジェクト、問題属性、課題フィールド • ウォッチャー、作成日、更新日、添付ファイル、サブタスク、アクティビティ

Confluence 移行ツールがサポートするデータタイプ

日本では、多くの企業が Confluence を日常業務におけるファイルや知識を管理するツールとして使用しているため、Confluence に格納されるドキュメントが多く、ユーザーのグループと権限構成が複雑になっているのが一般的です。ONES.com の Confluence 移行ツールでは、Confluence データの整合性を確保しながらシステム全体を移行できます。

- **様々なデータタイプに対応:** チームや個人のスペース、ページ、ブログ、ユーザー、グループ、権限などのデータ移行に対応しています。
- **移行データの整合性:** テキスト、テーブル、コードブロック、画像、音声、動画、添付ファイル、ハイパーリンクなど、ほとんどのコンテンツ形式を保持し、権限設定や組織構造の一貫性を確保できます。

Confluence 移行ツールのバージョン

バージョン	アクセス方法	機能説明
スタンダード版	システム内で直接アクセスすることが可能。	<ol style="list-style-type: none"> 1 データファイルのアップロードが必要。各ファイルのサイズ制限は 2GB 以下。 2 ユーザー、グループ、権限の移行はサポートされていません。
エンタープライズ版		<ol style="list-style-type: none"> 1 500GB 以下の Confluence データ移行が可能。 2 移行は API を利用して実行するため、データファイルのアップロードが不要。


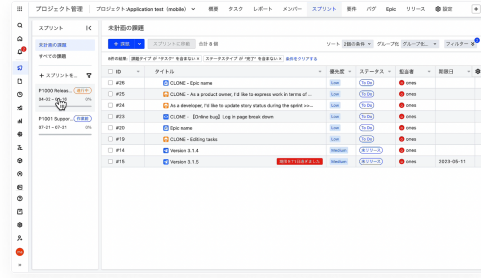

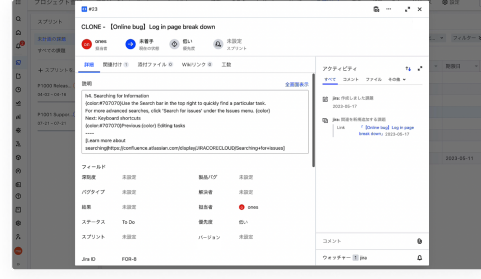


Confluence 移行ツールがサポートする主要データタイプ:

Confluence データタイプ	移行可否	移行内容
権限	エンタープライズ版でサポート	スペースの権限構成、ページ制限およびページ権限構成におけるユーザーとグループ
ユーザーとグループ	エンタープライズ版でサポート	ユーザー名、メールアドレス、グループの名前とそのユーザー
ページの関係者	✓	ページの作成者、変更者、ウォッチャー
ブログ	✓	ブログの内容と権限構成
マクロ	✓	対応するマクロのデータとスタイル
未定義ページ	✓	ページの内容とデータ


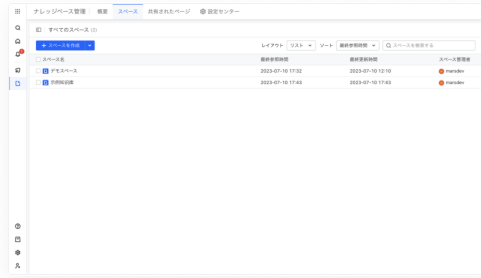
*未定義ページ：Confluence スペースに親ページが存在しないページ

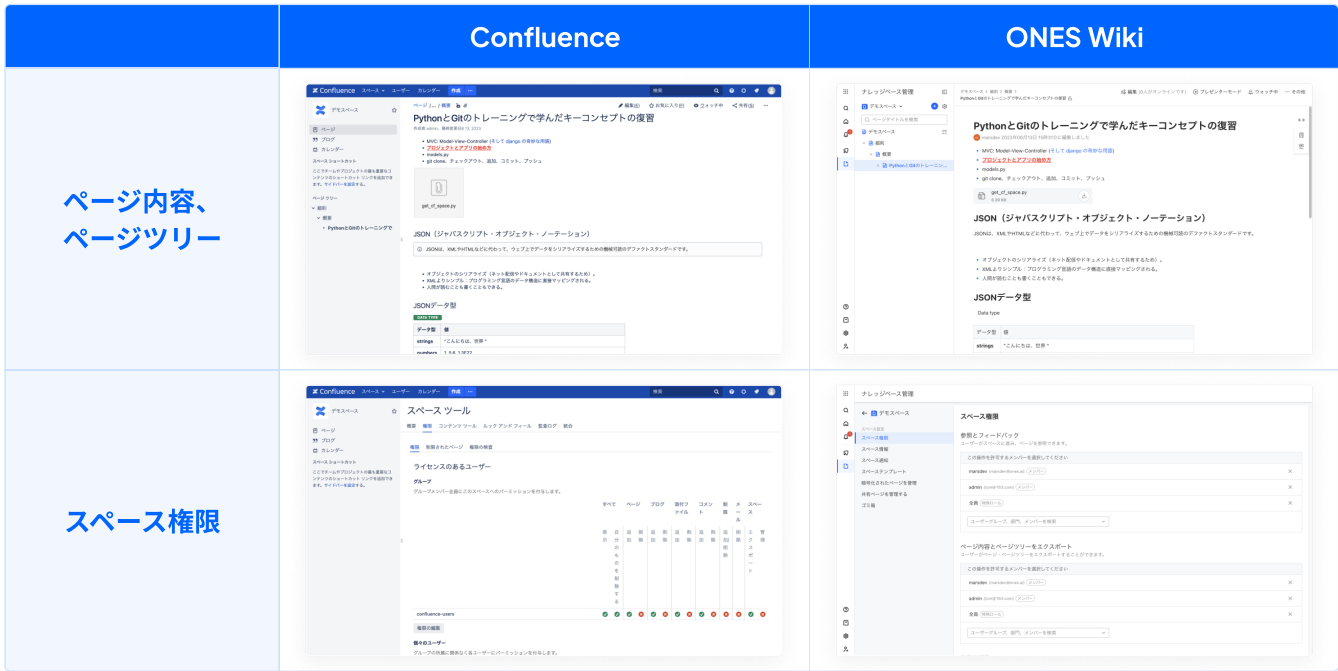
Jira と Confluence データ移行結果

Jira データ移行結果

	Jira	ONES Project
プロジェクトの スプリント		
課題の説明		
プロジェクト権限		

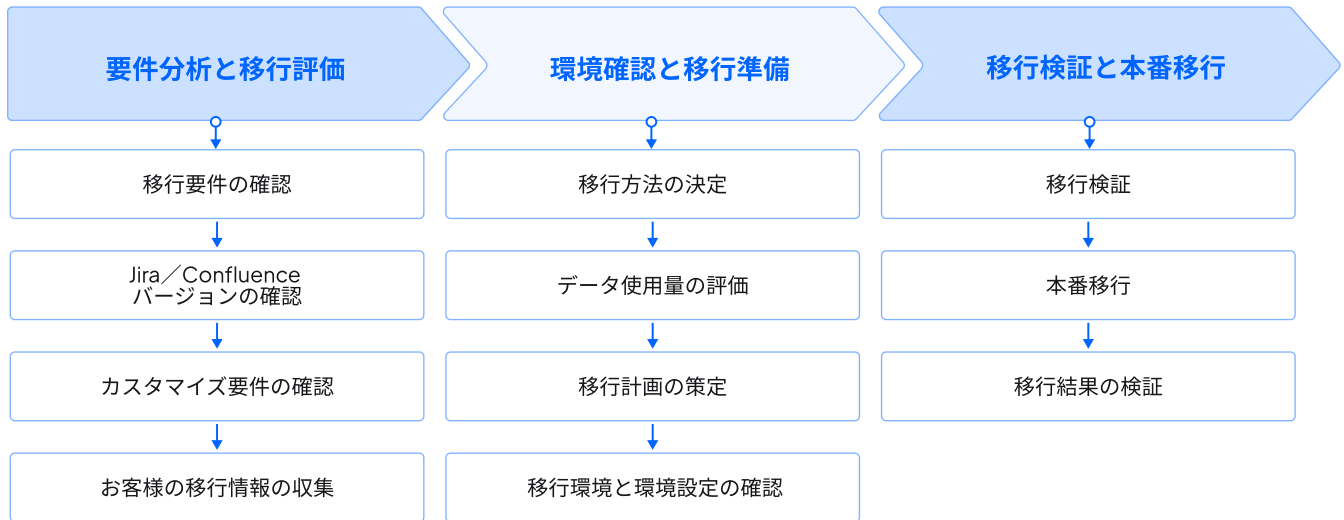
Confluence データ移行結果

	Confluence	ONES Wiki
スペースリスト		



03 移行プロセス

ONES.com は、豊富な移行実績と専門的な技術に基づき、安全かつ信頼性の高い Jira、Confluence 移行ソリューションを提供しています。要件分析から移行評価、環境確認、移行準備、移行検証、本番移行まで、プロフェッショナルなサービスを通じてスムーズな移行をサポートします。



ONES.com セルフ移行ツールの対応範囲

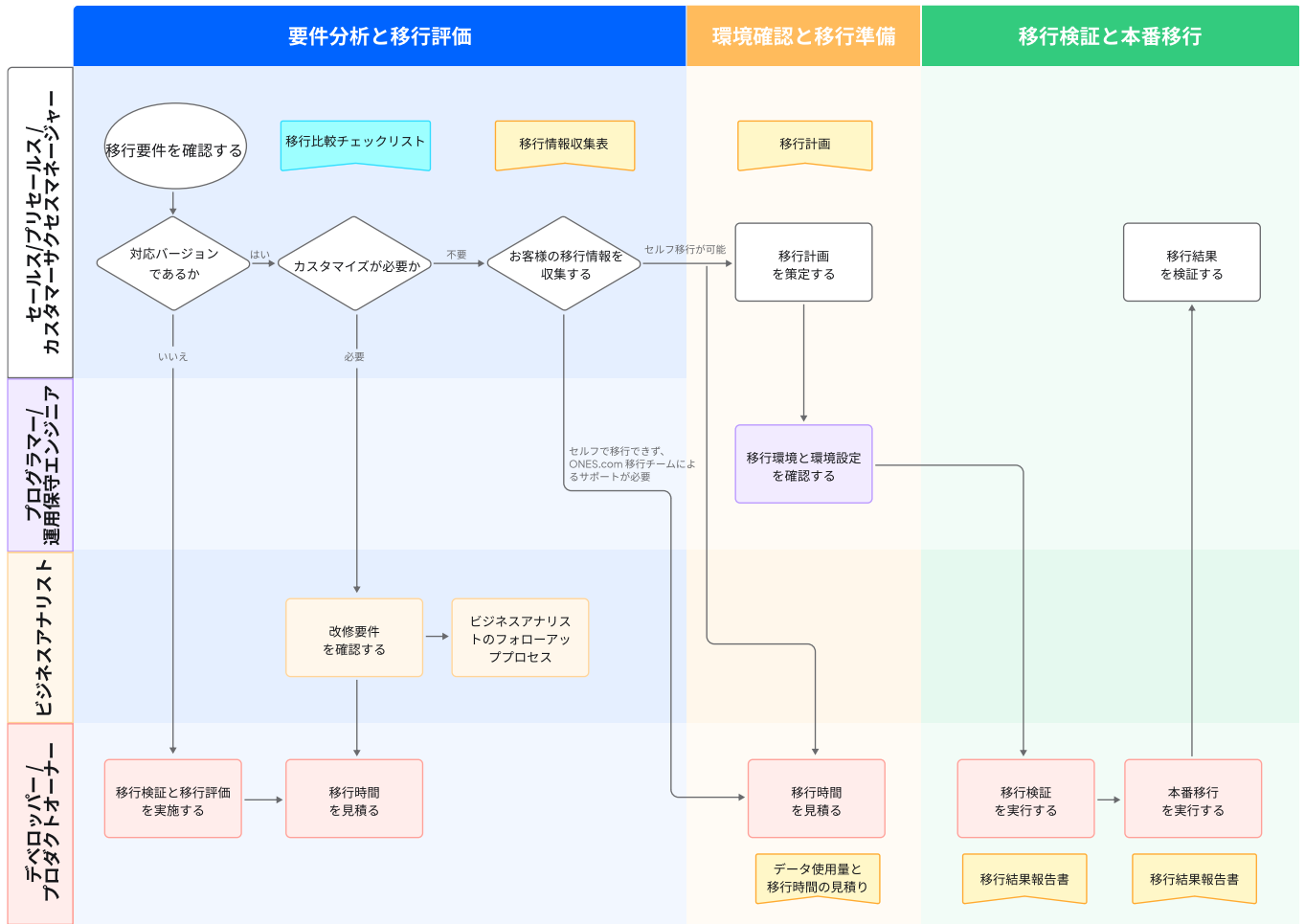
ONES.com は、Jira、Confluence 移行を柔軟で円滑に実施するためのセルフ移行ツールを提供しています。ご利用いただく製品のバージョンとデータ量が以下の要件を満たしている場合、ONES.com の移行ツールを利用することで、データの完全性と正確性を確保しながら移行を効率的に実施し、低コストでツール間の切り替えを実現できます。

	製品バージョン	データ量
Jira	Jira 7.x、8.x、9.x(Server, Data center)の移行	課題数 ≤ 500,000 個 チームメンバー数 ≤ 500 人
Confluence	Confluence 6.x、7.x (Server) または Data Center 版のデータ移行	スペース ≤ 400 個 スペースデータストレージ ≤ 500G

製品のバージョンやデータ量が上記の範囲を超える場合は、ONES.com までお問い合わせください。お客様の移行要件に応じて Jira、Confluence 移行ソリューションをカスタマイズいたします。

ONES.com 移行フローチャート

ONES.com の Jira、Confluence 移行ソリューションは要件分析と移行評価、環境確認と移行準備、移行検証と本番移行という3つのフェーズで構成されます。ONES.com 移行サポートチームは、プロフェッショナルなサービスを提供し、データ移行の効率性と完全性を確保します。移行プロセスの詳細については、以下のフローチャートをご参照ください。



イラスト説明



ONES.com セルフ移行プロセス

フェーズ	Jira 移行	Confluence 移行
要件分析と移行評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 Jira のバージョンとデプロイ方法を分析し、移行の実現可能性を判断します。 2 移行リスクを軽減するために、Jira データの使用状況を収集し、セルフで移行できるデータ範囲を特定します。 3 ONES.com が提供する移行内容を比較するためのチェックリストに基づいて、移行の結果が期待通りであり、システムのカスタマイズが不要であることを確認します。 4 上記の3ステップを経て、セルフ移行を採用するかを判断します。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 Confluence のバージョンとデプロイ方法を分析し、移行の実現可能性を判断します。 2 移行リスクを軽減するために、Confluence データの使用状況を収集し、セルフで移行できるデータ範囲を特定します。 3 ONES.com が提供する移行内容を比較するためのチェックリストに基づいて、移行の結果が期待通りであり、システムのカスタマイズが不要であることを確認します。 4 上記の3ステップを経て、セルフ移行を採用するかを判断します。

フェーズ	Jira 移行	Confluence 移行
要件分析と移行評価	<p>1 ONES.com 移行サポートチームは移行ツールおよび互換性のある ONES.com バージョンをデプロイします。</p> <p>2 スタンダード版: ONES.com システムで、設定センター > データ移行 > Jira データ移行 にアクセスし、データファイルをアップロードします。</p> <p>エンタープライズ版: 保守運用担当者は ONES.com のマニュアル「エンタープライズ版のデプロイ方法」の指示に従って Jira 移行ツールをインストールします。その間に技術的問題が発生する場合、ONES.com 移行サポートチームはコンサルティングサービスを提供します。</p>	<p>1 ONES.com のマニュアル「Confluence データ移行」の指示に従って Confluence 管理者アカウントと ONES.com 管理者アカウントを準備します。</p> <p>2 エンタープライズ版をご利用の場合には、ONES.com の移行サポートチームはお客様の Confluence サーバーと ONES.com サーバーのストレージ容量が要件を満たしているかを確認するのに協力します。</p> <p>3 ONES.com システムにログインし、「Confluence データ移行」モジュールにアクセスし、移行ツールに入ります。</p>
移行検証と本番移行	<p>1 業務プロセスを代表できるようなプロジェクトを複数選択し、Jira 移行ツールを利用して ONES.com のテスト環境へ移行します。</p> <p>2 ONES.com 移行サポートチームはバッチごとにおよびすべてのデータが移行された後、お客様と共同でプロジェクトや課題、ユーザー、グループ、権限などの移行データの完全性を検証します。</p> <p>3 検証完了後、Jira 移行ツールを利用して本番移行に進みます。</p>	<p>1 Confluence 移行ツールで、移行を検証するための移行タスクを作成し、検証したいスペースまたはサンプルデータを選択して移行を開始します。移行が完了したら、移行レポートを参考にしてデータの整合性を確認できます。</p> <p>2 ONES.com の移行サポートチームはバッチごとにおよびすべてのデータが移行された後、お客様と共同でスペースやページ、ユーザー（エンタープライズ版のみ）、グループ（エンタープライズ版のみ）、権限（エンタープライズ版のみ）などの移行データの完全性を検証します。</p> <p>3 検証完了後、Confluence 移行ツールを利用して本番移行に進みます。</p>

Jira、Confluence のデータが複雑で大量であっても、ONES.com までお問い合わせくだされば、[専門的な移行技術サポートチーム](#)がシステムのカスタマイズを含む移行ソリューションを提案させていただきます。

04 移行成功事例

インテリジェント製造企業はどのように安全性とコンプライアンスを確保しながら Jira、Confluence から ONES.com へ移行するか

2023年6月、ONES.com は自社が開発した移行ツールを通じて、**インテリジェント製造企業**（以下「S社」とします）の**500人のチーム**の Jira、Confluence 移行を実施させていただきました。これにより、S社はプロジェクト管理とナレッジ管理に変革を起こしました。

S社は、インテリジェント製造業界に先駆けてデジタルトランスフォーメーションに成功した企業です。高度な技術力とインテリジェント製造業への深い認識に基づき、産業チェーンの統合を実現し、各業界のお客様の革新をサポートしています。

S社のソフトウェア開発センターは開発、製品、テスト、運用保守などの部門からなり、約500人もの従業員がいます。そして、移行中のデータの安全性とコンプライアンスの確保が最も重要な目的だと認識されています。それらの要件を踏まえて検討した結果、S社はONES.comのセルフ移行ツールを利用してJira、ConfluenceのデータをONES.comシステムに移行することになりました。



ONES.com が提案した移行ソリューション

移行前：バージョン確認とデータ調査

まず、ONES.com が提供する「[データ移行評価表](#)」により、移行ツールはS社が利用しているONES.comバージョンに対応できず、3.13.44以上のバージョンにアップグレードする必要があることがわかりました。

その後、S社は移行データがONES.comの移行ツールの対応範囲内にあるかを確認するため、社内でデータ調査を実施しました。

移行中：バッチ移行とトラブルシューティング

01 移行プロセス

移行の品質を確保するために、移行プロセスを「[移行検証](#)」と「[本番移行](#)」の2つのステージに分けました。

ONES.comの移行ツールでは、本番移行前に移行の結果を正確に確認できる「移行検証」モードを提供しています。移行検証モードでは、S社の管理者はJiraのバックアップデータファイルを選択するだけで「[検証結果報告書](#)」が生成され、Jira、Confluenceの各種データのONES.comへ順調に移行できるかを確認できます。

S社のテストチームが移行内容を確認、検証した結果、異常は見つからず、本番移行を実施することになりました。S社のJiraデータ移行の情報は下記の通りです。

移行前：Jira バージョンとデータ量		移行後：ONES.com 環境のデータ	
Jira バージョン	V8.22.4	デプロイ方法	スタンドアロン
プロジェクト数	44 個	システムバージョン	V3.13.52
課題数	15,608 個	CPU コア数	16
メンバー数	708 人	RAM サイズ	32G
添付ファイルサイズ	60G	ディスク容量	500G
		ストレージ方式	ローカルストレージ

02 本番移行

S 社の Jira 移行は順調に進みました。しかし、Confluence 移行中にデータ量が多く、一度で移行を完了できなかったため、移行ツールの「[バッチ移行](#)」機能を利用し、以下の手順で移行が実施されました。

- Confluence のスペースの使用状況を分析しました。
- アクティビティ、価値および業務との関連性に基づいて移行スペースを選択しました。
- 移行時間を短縮するように、移行を複数回に分け、一度に移行するデータ量を減らしました。

移行後：データ検証

移行が完了した後、S 社の管理者は「[移行ログ](#)」をダウンロードし、移行されたユーザー、プロジェクトフィールド、その他の情報を確認し、移行データの整合性を確認しました。

テラバイト規模のデータを移行！クラウド大手企業が Jira から ONES.com へ切り替える方法とは？

2023年1月、ONES.com は[大手クラウドサービス会社](#)の Jira、Confluence 移行を支援し、[8,000 人のチーム](#)と [テラバイト規模のデータ](#)を扱いました。移行は会社規模で実施され、会社全体のプロジェクト管理とナレッジ管理システムの利便性に大きな飛躍をもたらしました。

データ移行は手間のかかる大規模な作業です。同会社は[5年間](#)にわたり Jira、Confluence を使用し続け、膨大な量のデータを蓄積してきました。移行プロセスでは、移行のスピード、品質、互換性、セキュリティおよびストレージスペースに対する厳しい要件に加え、異なるバージョンのミックスにより移行の複雑さがさらに増しました。

その移行要件に対応するために、ONES.com は[システムのデプロイ](#)、[ソリューション設計](#)、[スコープ確認](#)、[実装](#)、[データ検証](#)、[トレーニング](#)をカバーする包括的なソリューションを提供しました。また、[プリセールスコンサルタント](#)、[実装スペシャリスト](#)、[カスタマーサクセスマネージャー](#)からなる[専門チーム](#)が生まれ、データ、プラグイン、マクロを含む Jira、Confluence 移行を実施しました。

- 5つのシステムと6つのバージョンに分散された 8T 以上のデータを ONES.com に移行しました。
- 企業の利用シーンに基づいてさまざまな技術的課題を乗り越え、業務の継続性を確保しました。
- 5年間にわたり Jira、Confluence を使用していた 8,000 人のチームが新システムにスムーズに切り替えるようサポートしました。
- システムのセキュリティ、安定性、スムーズな動作を確保しながら移行検証と本番移行を実施しました。

移行のバージョンとデータ量は下記の通りです。

Jira システムとバージョン	
システム	5つの Jira、Confluence システム
バージョン	6つのバージョン (Server と Data Center を含む)

Jira データ量		Confluence データ量	
課題	300,000 以上	データ	7T 以上
ユーザー	27,000	スペース	1,000 以上
添付ファイル	1T 以上	一番大きいスペース	500G



移行が完了した後、会社の代表者は次のように述べられました。

「ソリューションの設計段階から実装、デプロイ、そして製品のトレーニングやプロモーションに至るまで、ONES.com チームは私たちの課題や要件に対して素晴らしい移行ソリューションを提供してくださいました。特に限られた時間内に Jira、Confluence から大量のデータをスムーズに移行するサポートは、私たちにとって大変重要でした。ONES.com の製品とチームの専門性に対する私たちの信頼は揺るぎません。今後も引き続き ONES.com との協力を重ねていくことで、より効率的かつ信頼性の高い業務運営が可能になると確信しています。」



ONES.com が提案した移行ソリューション

要件分析とデータ量評価

ONES.com は、Jira、Confluence のデータ量、デプロイ状況などを詳しく評価し、管理部門、業務部門、コア部門の使用習慣や移行要件について調査を実施しました。複数回の情報収集と検討を経て移行方法の計画、所要時間の見積もり、予想結果の評価を行い、最終的にお客様の合意を得られる移行計画を作成しました。

履歴データの分析を通じて、一部のプロジェクトやスペースは重複し、長い間放置され、または業務上の価値が低下していることがわかりました。そこで、ONES.com は各部門の代表者を通して社員の要件を収集し、移行リストから不要なデータを削除しました。これにより、移行プロセスがより効率的で効果的になりました。

環境確認と移行準備

データ移行においては、情報セキュリティ、制御性、可用性の確保が大変重要な課題です。移行を準備する段階では、ONES.com は SOC2 Type1 監査報告書の基準に厳密に従って **オンプレミス環境に基づいた高可用性ソリューション** を提案し、システムのセキュリティスキャン、異常動作の監視、セキュリティ監査などの対策を講じて会社データの情報セキュリティを確保しました。

- **データ暗号化**：ONES.com では、情報セキュリティを効果的に保護するために、業務データや機密情報の保管および送信中における暗号化を実施しています。
- **データバックアップ**：クラスターに重大な損害が発生した場合でもデータを迅速に復元できるよう、データバックアップが実行されています。また、業務の継続性を確保するためのデータ冗長性メカニズムが実装されています。
- **異常アラート**：運用保守チームは24時間365日、異常なイベントを監視し、アラートにタイムリーに対応することで、データの損失・損傷の防止に取り組んでいます。
- **システムテスト**：高負荷下でのパフォーマンスの制約や問題点を事前に特定し、移行に伴うリスクを最小限に抑えるために、移行前に複数ラウンドのストレステストと高可用性テストを実施しています。

さらに、開発管理体験の最適化と業務プロセスの円滑化のために、個々の要件に合わせて **柔軟な統合と設定** を提供しました。

- **サービス統合**：ONES.com では、開発データプラットフォーム（DDP）やシングルサインオン（SSO）等の第三者サービスの統合に対応しています。
- **システム設定**：複数チームを管理する製品能力に基づき、親会社と子会社の間でのプラットフォームの統一化とデータの分離を可能にしました。また、会社の管理方法に従って権限設定、ワークフロー、プロジェクトテンプレートなどを事前に設定することで、システムの使いやすさが向上しました。

移行検証と本番移行

01 移行検証

移行範囲を特定した後、移行計画の実現可能性を検証し、本番移行に備えるために、**各部門から業務プロセスを代表できるようなプロジェクト**（使用頻度が高く、コンテンツが豊富なものなど）を1~2個選び、**パイロットテスト**を行いました。これにより、移行内容を確認し、移行プロセスに慣れることができました。

また、移行の問題点を早期に発見し、リスクを最小限に抑えるように、**本番環境のシミュレーション環境を用意してテスト移行を実施しました**。シミュレーション環境でデータ、アプリケーションが正常に動作するかをチェックした上で異常状況に備えて緊急対策を立てることで、データの紛失、損傷を回避でき、シームレスな移行を実現しました。

02 本番移行

移行のデータ量が大きいため、できるだけ業務の正常な運用に支障を生じないように、**移行を3つのバッチに分けて実施しました**。また、エラーの発生確率を最小限に抑えるように、移行前と移行後のチェックリスト、管理者とユーザーにわかりやすい操作ガイドを提供しました。さらに、バッチ移行ごとに問題点を特定し、次のバッチで最適化しました。

移行中、ONES.com は進捗状況をリアルタイムで確認し、**リスクの特定と問題対応に取り組んでいました**。また、お客様に移行の進展を確認していただけるように、日次会議、週次会議、隔週会議を開催していました。

03 データ検証

データの品質保証は移行プロセスの重要な一環です。移行内容を検収する際に、データの正確性、完全性、一貫性を確保するために **ONES.com はお客様と共同で移行の結果を確認し**、発生した問題に迅速に対応して業務障害を回避できました。

04 トレーニング

ONES.com システムをスムーズに導入していただけるよう、**管理者向けとユーザー向けのトレーニングをそれぞれ計画しました**。システムの使い方に関する勉強会を10回にわたり実施し、ベストプラクティスの共有、質疑応答、ONES.com とJira、Confluence の比較などのセミナーも開催しました。

ONES.com

**プロジェクト、課題、ドキュメントから
製品の開発エクスペリエンスを進化させましょう！**

in   